

予防接種事務デジタル化に係る
予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの
設計・開発及び運用・保守業務一式

外部インターフェース仕様書（自治体 健康管理システム編）

第 1.0 版

改版履歴

版数	制改訂日付	変更箇所	変更理由・変更内容	変更者	承認者
1.00	2025/9/30	-	初版発行		

目次

1. はじめに.....	1
1.1 本書の目的	1
1.2 本書の構成	1
1.3 本書の対象	1
2. WebAPI 連携方式.....	3
3. WebAPI の利用方法.....	4
3.1 WebAPI 認証認可.....	4
3.1.1 WebAPI 利用時の認証方式.....	4
3.2 業務 WebAPI の利用方法.....	6
3.3 文字コード	8
3.3.1 要求データ、結果データの文字コード	8
3.4 WebAPI 呼び出し時のエラー対処	9

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、予防接種事務デジタル化に係る予診情報・予防接種記録管理／請求支払システム（以下、「予予・請求システム」とする）が自治体の健康管理システムと連携して行う業務を実現するためのインタフェース仕様を示す。

1.2 本書の構成

本書の構成を「表 1-1 本書の構成」に示す。

表 1-1 本書の構成

項番	資料名	概要
1	外部インタフェース仕様書（自治体_健康管理システム編）（本書）	予予・請求システムと健康管理システムがWebAPI連携するために必要な仕様、各インタフェースのレイアウト設計を記載した資料。
2	別紙 1-1_外部インタフェース一覧（自治体_健康管理システム編）	本書で定義する外部インタフェースの一覧を記載した資料。
3	別紙 2-1_外部インタフェース設計書（自治体_健康管理システム編）	健康管理システムが予予・請求システムと連携する際に用いるインタフェースのレイアウトについて記載した資料。
4	別紙 3-1_処理結果コード（エラーコード）一覧（自治体_健康管理システム編）	健康管理システムが予予・請求システムと連携する際に用いるインタフェースにおける処理結果を表すコード仕様について記載した資料。

1.3 本書の対象

本書では、自治体の健康管理システムから予予・請求システムが提供するAPIをJSON形式で直接呼び出す「WebAPI連携」方式について説明する。

※「Web画面操作」については、別途公開予定の予予・請求システムの操作マニュアルを参照すること。

「WebAPI連携」における概念図を「図 1-1 健康管理システムと予予・請求システム間の処理概念図」に示す。

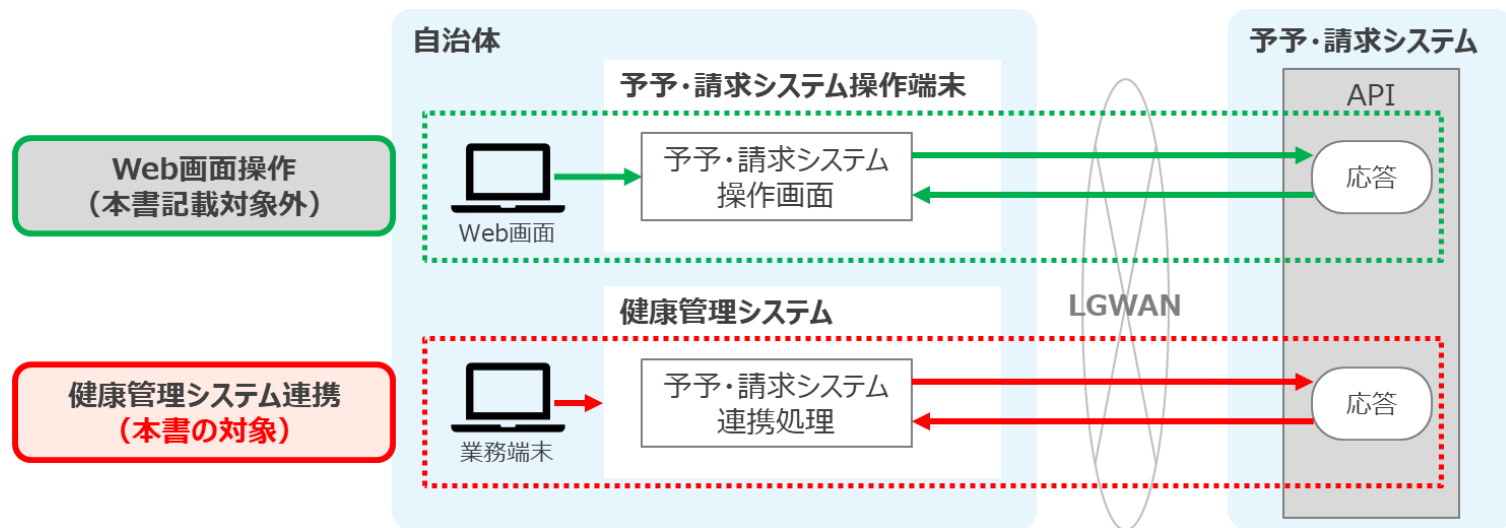


図 1-1 健康管理システムと予予・請求システム間の処理概念図

2. WebAPI 連携方式

WebAPI 連携は、LGWAN を介して予予・請求システムが提供する WebAPI を JSON 形式で直接呼び出す連携方式である。

予予・請求システムが提供する WebAPI の一覧を「別紙_1-1_外部インターフェース一覧（自治体_健康管理システム編）」に示す。

また、インターフェースの詳細を、「別紙_2-1_外部インターフェース設計書（自治体_健康管理システム編）」に示す。

3. WebAPI の利用方法

3.1 WebAPI 認証認可

健康管理システムからの WebAPI 利用時は、予予・請求システムの Web 画面を利用して事前に発行するアクセストークンを利用して認証を行う。

3.1.1 WebAPI 利用時の認証方式

健康管理システムからの WebAPI 利用には、予予・請求システムの Web 画面を使用して事前にアクセストークンを発行する必要がある。発行したアクセストークンをリクエストヘッダに設定し、予予・請求システムでアクセストークンを検証して認証認可を行う。

健康管理システムからの WebAPI 利用時の認証認可方式を、「図 3-1 健康管理システムからの WebAPI 利用時の認証認可方式」に示す。

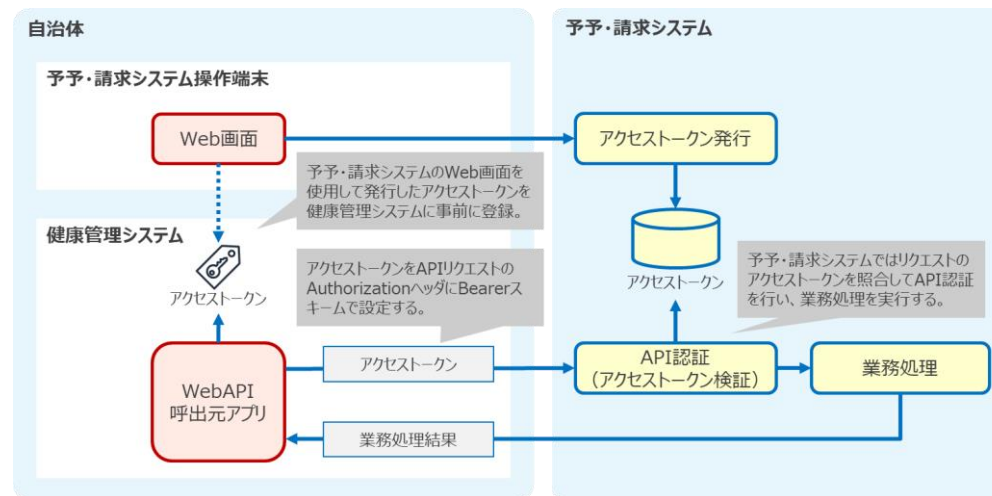


図 3-1 健康管理システムからの WebAPI 利用時の認証認可方式

<認証時の検証内容>

- ① 自治体毎に事前に発行するアクセストークンの検証

<認証認可エラー時>

不正な認証情報による認証エラー時には、認証エラー (HTTP ステータスコード : 401) を返却する。

また、認証情報に問題が無い場合でも、必要な権限がない場合は認可エラー (HTTP ステータスコード : 403) を返却する。

認証エラー時はアクセストークンの値やステータスを確認・修正の上、再度リクエストを行うこと。

認可エラーは原則発生しない想定の為、発生した場合は予予・請求システムに問合せること。

健康管理システムから予予・請求システムの業務 API 呼び出し時の電文のサンプルを以下に示す。

■ リクエスト電文

```
GET /vaccination/api/v1/sample HTTP/1.1
Host: localhost:8080
User-Agent: MyServiceName/1.0
Accept: */*
Content-Type: application/json
Content-Length: 102
Authorization: Bearer muni2fK7xaL3KYrT6mfffaRyyfXfDV6b1sTdAQ7x82s9rQk
```

Web 画面から発行したアクセストークンを設定する。

■ レスポンス電文

```
HTTP/1.1 200
X-Content-Type-Options: nosniff
X-XSS-Protection: 0
Cache-Control: no-cache, no-store, max-age=0, must-revalidate
Pragma: no-cache
Expires: 0
Content-Type: application/json
Transfer-Encoding: chunked
Date: Fri, 04 Sep 2025 07:14:57 GMT

{"message":"sample"}
```

3.2 業務 WebAPI の利用方法

WebAPI 連携では、健康管理システムから予予・請求システムの指定の URL に対してリクエストを送信することで各 WebAPI を利用できる。

本書で使用するリクエスト URL の詳細は、「別紙 1-1_外部インターフェース一覧（自治体_健康管理システム編）」に示す。

3.3 文字コード

予予・請求システムが提供する WebAPI 利用時の文字の取扱いについて以下に示す。また、本システムにおける文字の取扱いに関する概念図を「図 3-2 WebAPI 連携における文字の取扱い」に示す。

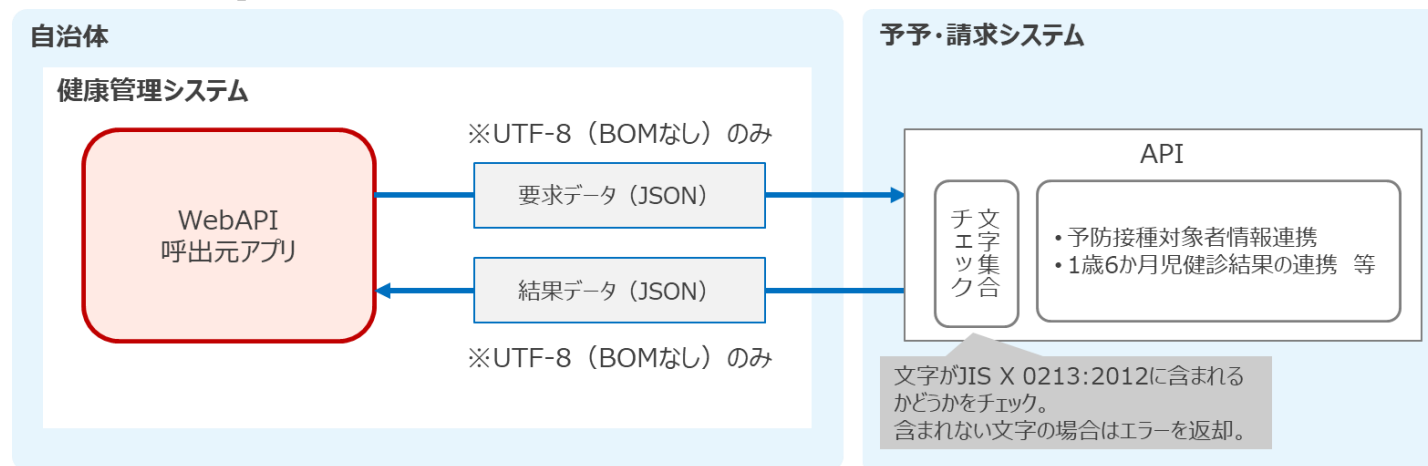


図 3-2 WebAPI 連携における文字の取扱い

3.3.1 要求データ、結果データの文字コード

予予・請求システムが提供する WebAPI は JSON 形式でのデータ受渡しを行うため、UTF-8 (BOM なし) で要求データを作成する。また、結果データに返却される文字コードも UTF-8 (BOM なし) のみとする。

また、取り扱う文字集合は JIS X 0213:2012 とし、要求データ内に JIS X 0213:2012 の範囲外の文字が含まれる場合はエラーを返却する。

3.4 WebAPI 呼び出し時のエラー対処

WebAPI 呼び出し時のエラー内容については、「別紙 3-1_処理結果コード（エラーコード）一覧（自治体_健康管理システム編）」を参照。